



NPO救命おかやま 会報

Vol. 31

NPO
救命 おかやま
Kyumei Okayama



2018. 10. 1 発行



1. ご挨拶

NPO 救命おかやま事務局：小倉茂樹

皆さま、救命おかやま事務局 小倉茂樹と申します。

氏家先生にお声をかけていただき社会復帰、事務局員として早一年が経とうとしています。前号では巻末でご挨拶をさせていただきましたのに、今回は巻頭で・・・ということになりました。ご指名とはいえ、私の心の内は僣越感で膨れ上がっています。そのような中で筆を執らせていただきます。

私と氏家先生との出会いは、先生が岡山大学へ来られた年の8月頃であったと思います。当時、私は岡山市消防局警防課で救急救助担当の課長補佐でありました。岡山大学医学部に救急医学の教授が就任されていることを知り、ご挨拶に……。運悪く、先生はご不在で、名刺を置いて帰りましたが、すぐにメールをいただきました、岡山消防の救急統計が欲しいと。県医師会主催の「救急の日」の行事で、ご講演をされるとのことでした。ご挨拶が出来たのは、その「救急の日」行事の会場だったのでしょうか。「あ～、小倉さん、また医局に寄ってください・・・」フランクに声をかけていただきました。先生は、消防が行う救急のことを好くご存じでした。「消防力の基準」のこともお詳しく、「えっ、何でそんなことまで！」と思わず目頭が熱くなったことを覚えています。そのような中で、医師による救急車同乗研修のお話を伺い、異文化交流をすること、同乗する皆さんに好い思い出を作っていただくことは、消防救急の将来にとってもステキなことになるとの思いで、お話を進めいただくことにしました。そして、翌年4月この同乗研修初日、市場先生と私は報道関係者に囲まれていました。



病院前救急体制の検討が始まり、救急隊員が行う応急処置の拡大がなされ、MC体制の確立に向かって消防の行う救急が大きく動き始めた頃、氏家先生と私は出会いました。そしてこのことは、私には勿論消防にとっても、とても幸運な出来事だったことが皆さまに旨く伝わったでしょうか。

事務局へは、基本的には月曜と木曜（祝日の場合翌日）の2日と他に必要に応じて出勤をすることにしています。不在のことも多く、皆さまに多々ご迷惑をお掛けすることと存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

2. ご報告

◆第13回総会・2018講演会・報告会&懇親会のご報告

（平成30年7月21日 於：岡山プラザホテル）

■ 第13回定時総会

理事長：氏家良人（函館市病院局長）

“NPO 救命おかやま”はH30年6月より14年目を迎えました。平成30年7月21日（土）に岡山プラザホテル「鶴鳴の間」において第13回定時総会を開催致しました。理事長である私が議長に任命され総会議事を進めました。

議題は報告事項として、1)H29年度会員動向、2)H29年度事業報告について説明がなされ、審議事項として1)29年度収支決算、2)30年度事業計画、3)30年度収支予算案、4)定款の変更などがあげられ、それぞれ協議がなされました。

会計はこれまで極めて健全会計であり、監事からも健全会計であることが述べられ、問題なく承認されました。

■ 2018講演会・報告会・懇親会

監事：角南和治（岡山協立病院）

◇講演：『妊産婦死亡を減らす大阪の試み ～防ぎ得る周産期の死亡撲滅のために～』

荻田和秀先生（りんくう総合医療センター 産婦人科部長）

◇報告：『おかやまマラソンCPA救命の報告』

報告 「おかやまマラソンCPA救命の報告」 橋詰朋子さん（社会医療法人光生病院・NPO会員）

指定発言報告「トライアスロン大会 事故予防のために」河合洋二郎先生（河合内科西口クリニック）

報告会では、橋詰朋子さんに、マラソン当日のCPA救命現場の状況を臨場感たっぷりに伝えていただき、もう1例のCPA現場で援助された河合洋二郎先生から予防が何より重要であることを教えていただきました。特別講演では、あの人気ドラマ「コウノドリ」のモデルになった荻田先生に来ていただき、産科と救急がコラボすることにより、多くの命が救えることを「死戦期帝王切開」をモデルにした映像も交えて示され、心に響く内容でした。当日講演にあった「コマンド&コントロールによるチームアプローチ」、「標準化された輸血戦略」などについては、荻田先生が執筆されている、メディカ出版「周産期初期診療アルゴリズム」（表紙はコウノドリ原作者・鈴木ノユウさんのイラスト）に詳細があり、ぜひご覧になってみてください。



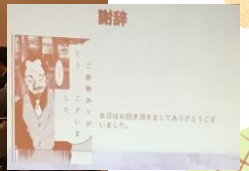
【総会】



【報告会】



【講演会】



【懇親会・表彰】





■ 2018 会員表彰 (2017 年度への表彰)

理事：山本英一 (平井耳・鼻・のどクリニック)

7月の西日本豪雨、晴れの国おかやまで起こった水害、追い打ちをかけるような連日の猛暑。会員の中にはボランティアとして災害現場に参加し、体調を壊している方も見受けられ、参加申し込み後のキャンセルもあった懇親会ですが、元気を届けようという乾杯の音頭で始まりました。

会員表彰としては、最優秀貢献賞は倉敷中央病院の岡本さん、グッドサポート賞には JPTEC 岡山県事務局を選びました。さらに今回は、皆勤賞も設定し、岡山マラソン AED 待機班から表彰しました。気になる副賞ですが、最優秀貢献賞には、ホテルのディナー券をペアで贈っています。丁度、サッカーのワールドカップが終わった頃でしたので、表彰進行の際、競技審判用のホイッスルを吹いてみました。約 125dB の音が出るそうです。倒れている人を発見し、大声で人を呼ぶ際に良いかなと感じました。今年からの新企画として、最優秀貢献賞以外の表彰された方々の中から 1 名 (倉敷平成病院：高須賀さん)、懇親会に参加者全員の中から 1 名 (倉敷中央病院：清輔先生)、同じくホテルのディナー券をプレゼントしました。勿論ジャンケンです。この企画は来年も継続するつもりですので、懇親会だけ参加するという会員も大歓迎です。

大阪、北海道と、各地で大きな地震が発生し、「起こる可能性のあることは、いつか実際に起こる。」という言葉の思い浮かべました。南海トラフ地震の地震もいつ起こっても不思議ではありません。日頃からの対策、訓練が大切です。「笛吹けど踊らず」にならないよう、行動しましょう！

4. 平成 29 年度 会員表彰

7月21日懇親会にて、平成 29 年度の会員表彰を行いました。ICLS/ISLS/JPTEC/ MCLS コース・救命講習会のインストラクターとしてご活躍くださいましたすべての会員の方を対象とし、推薦により候補をあげていただき、その中から選ばせていただきました。受賞者の皆様のご案内と最優秀のご挨拶をご紹介します。

【最優秀貢献賞】

岡本裕子さん (倉敷中央病院)

この度は、最優秀貢献賞という名誉な賞をいただき、誠にありがとうございました。

ひとえに皆様のご協力のもとにだけた賞であり、大変感謝しております。自分が最初にコースを受講した際には、緊張しており受講内容もとても難しかったように記憶しています。しかし、インストの皆さんの指導を受けることにより救命活動の大切さ、ことにチーム蘇生の大切さをとても強く感じることはできました。そこで、自分も先輩方とともに明るく！楽しく！分かりやすく！をモットーに元気よくインストをすることで強いチームがいくつも誕生すればいいなと思って、活動を続けている次第です。お互い面識なくとも、コース終了時には一つのチームになっているという素晴らしい経験をさせていただいています。NOP 救命おかやまを通じて今後も精力的に楽しく地域の皆様のために活動をしていきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【貢献賞】…戸田憲子さん、山脇利恵さん (赤穂市民病院)、山崎裕子さん (みさお山訪問看護ステーション)

井上貴博先生 & 井上千穂さん (川崎医科大学)、江口伸治さん (岡山市消防)

【新人賞】…上岡祐子さん (倉敷中央病院)、石川淳一さん (倉敷中央病院)、青井純子さん (岡山市消防)

【グッドサポート賞】JPTEC 岡山県事務局

【皆勤賞】…小畑秀明さん (岡山理科大学)、岸本健次さん (平病院)、桜井裕美子さん (桜井歯科医院)

定兼正明先生 (さだかね歯科医院)、末永武史さん (岡山協立病院)、高須賀功喜さん (倉敷平成病院)

津下裕美子 (国立青松園)、平田早苗さん (川崎医科大学附属病院)

平塚剛士さん (岡山ひだまりの里病院)、山崎裕子さん (みさお山訪問看護ステーション)

5. 特別寄稿：西日本豪雨災害を経験して感じたこれからの災害対応について

～7月の豪雨災害で継続的な支援をされていた多賀さんに、NPO 救命おかやま事務局より原稿を依頼し、

現場で感じたことや課題などを書いていただきました。～

NPO 会員：多賀美和 (水島協同病院)

7月初旬、多くの地域で豪雨による甚大な被害が発生した。7/8 水島地域に避難所が開設され、約千人の避難者が来ると当院事務長が倉敷市役所に訪問し情報を得た。同時に当院管理部に緊急招集をかけて午前中に災害対策本部を立ち上げ、手分けして避難所を巡回し、各避難所の情報を集めた。そして、「水島地域の避難者の健康を守ること」を当院の方針と決定し、現在に至るまでフェーズに合わせて避難所訪問を行っている。今回、この災害を通して私の感じた問題点と今後につなげる災害対策について考えた。

1. 地域の一般病院には災害状況や避難所の情報、KuraDRO*開設などの情報は入らなかった。→NPO 救命岡山での人脈をたどり、7/9 に発足した KuraDRO へ急遽参加。以後、8/31 まで災害対策本部が様々な形に変化する中、継続して参加し情報発信した。

2. 発災直後は、訓練を受けた災害医療コーディネーターがいたが、フェーズの移行期より地域を守る災害医療コーディネーターがいなかった。→発災後 2 週間で災害対策本部の中心が医療者から行政に代わったことで現場の医療ニーズが本部に届きにくく、本部からの情報も届きにくいと感じた。

3. 避難者のフェーズに合わせたメンタルヘルスケアと同時に市職員のメンタルヘルスケアへの課題

上記3つの問題点を感じた。そこで今後につなげる改善案として、宮城県のように県の災害医療コーディネーターが行政・警察・消防・自衛隊・海保などと調整後、方針を決めて各地域の災害医療コーディネーターへおろす。そして、ここが地域の医療機関（医師会や病院協会など）・保健所・行政・福祉避難所など様々な機関と連携し調整する包括的なシステムが必要である。非災害時から顔の見える関係を構築し、今後起こりうる災害の教訓にしたい。被災者の健康を守るため、医療者は目を離さず、各機関と連携し支援していくことが重要である。

※ KuraDRO : Kurashiki Disaster Recovery Organization : 「倉敷地域災害保健復興連絡会議」
医療者が中心となり急性期の災害対応するため様々な機関からの情報集約・情報共有・災害対応方針について調整する場

6. 事務局からのご案内

■2018NPO救命おかやま 第13回市民のための救命講習会のお知らせ

【日時】 : 2018年11月10日(土) 14:00~15:30
【場所】 : ジップアリーナ岡山『サブアリーナ』
(岡山駅西口より徒歩約20分)
【受講募集】 : 150名(先着順)
※小学生以下の方は、保護者の方と一緒に申し込んでください。

監事：角南和治（岡山協立病院）

今回もおかやまマラソン2018の協働事業として開催いたします。昨年のおかやまマラソンでは2名の心肺停止症例がありましたが、一般ランナーも含む多くの方々の協力で救命されました。今回の講習会でも一人でも多くの方に参加していただき、救命の輪が広がることを期待しています。皆さんの周りの方々にもぜひお声かけいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■おかやまマラソン医事救護(AED班)スタッフにNPO会員として参加します

NPO救命おかやまとして、今年もおかやまマラソン2018のAED班をお引き受けいたしております。統括1名、副統括2名、待機AED班76名、自転車AED班24名、フィニッシュAED班26名の合計129名がボランティアとして参加致す予定です。参加される方は、10/21(日)の事前説明会に極力ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

◆会費請求(ご案内)

Vol30で会費請求のご案内を同封いたしております。会費のお振込みがまだの方は、会員会費のお振込用紙をご利用の上、会費納入をよろしくお願い致します。※お振込み先の振替口座は、銀行からの振込も可能です。

銀行振込を希望の方は、会員番号とお名前を記入の上お振込みをお願い致します。

【会員用郵便振替口座】口座番号：01310-8-95943

口座名義人：NPO救命おかやま(エス・オー・キューメイカヤ)

【会員用銀行振込】※会費銀行口座

ゆうちょ銀行 一三九(イサキヤ)店 当座 口座番号0095943

口座名義人 特定非営利活動法人NPO救命おかやま(トクエイエイカヤツウホクシヨクエス・オー・キューメイカヤ)

☆寄付の口座は寄付専用となっておりますのでお間違え内容をお願いいたします。

◆住所・勤務先の変更について

住所・勤務先、メールアドレス等の変更はお早めに随時事務局までメール・FAXにてご連絡ください。

※お振込み用紙記載の勤務先や連絡先住所・TEL等に変更がある場合は、変更記入の上、入金手続きをお願いいたします。

◆入会のご案内

NPO救命おかやまでは現在会員を募集いたしております。NPOの活動にご興味のある方のご紹介をお願いいたします。お申し込みは、HPの入会の項目よりお申し込みフォームにてお申し込みください。

尚、HPにて申込入力後、またはコース開催時の入会申込用紙提出後、入金はまだの方は会員の手続きは未登録の状態ですので、早めの入金をお願いいたします。

◆寄付金募集のご案内

NPO救命おかやまでは現在寄付を広く募集いたしております。NPO救命おかやまの活動をさらなる充実のため、心肺蘇生の輪を広げるこの活動にご賛同いただき寄付金のお申込みいただけます場合は、同封の赤色の振込用紙(寄付用)よりお申し込みをお願いいたします。

また、NPO救命おかやまの活動にご賛同いただける方が周りにいらっしゃいましたら何卒ご紹介の程よろしくお願いいたします。

尚、NPO救命おかやまは特定非営利活動法人ですので、寄附に伴う税制上の優遇措置はありません。

【寄付用郵便振替口座】口座番号：01300-9-104786

口座名義人：NPO救命おかやま(エス・オー・キューメイカヤ)

【寄付用銀行振込口座】ゆうちょ銀行一三九(イサキヤ)店当座口座番号0104786

口座名義人：特定非営利活動法人NPO救命おかやま(トクエイエイカヤツウホクシヨクエス・オー・キューメイカヤ)

◇ときわグループ様からの寄付報告◇

今年度(H30)も、ときわグループ様より20万円の寄付をいただきました。

この寄付のために、毎年ときわグループ様のパーティーの際、受付にNPO救命おかやま用の募金箱を設置していただいております。また、別途永山積善会さまからも昨年には15万円の寄付をいただきました。NPO会員一同心より感謝申し上げます。この寄付金は、資器材購入などNPOの活動に有効に使わせていただこうと思っております。

【発行元】 特定非営利活動法人 NPO救命おかやま 事務局

〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-7-10
電話&FAX: 086-226-3999

E-mail: kyumeiok@md.okayama-u.ac.jp
HPアドレス: <http://npo-ok.umin.jp>

